

奈良・人と自然の会

私たちは大和の自然を愛します。

楽しく！明るく！元気に！

会の目的

奈良県における自然環境の保全と

自然環境教育の実践を通じて、

会員間の親睦と

地域社会に貢献すること

奈良・人と自然の会 の概要

設立2001年9月 任意団体 会員131名

- ◇奈良県下の自然観察会や講演会、
- ◇国有林の間伐整備
- ◇自然環境教育の体験学習や啓蒙

ならやまプロジェクト 事業

平成19年～景観整備 取り組み、現在4年目

「ならやまプロジェクト」活動内容

奈良 県有地 景観整備事業...7,33ha

古都保存法による

歴史的風土特別保存地区、第1種風致地区

- ◇里地・里山林の景観復活、維持保全の各種施行を行います。
- ◇この地の自然環境による 青少年環境教育 の実施
- ◇地域の皆さんとの共同、協働 学校との連携
- ◇菜の花プロジェクト バイオ燃料による循環資源への試み

水田、畑の復旧、竹林、里山林の復活整備事業。

生物調査、(草本、樹木、昆虫、水生生物、野鳥)

多様な生物の生息地への回帰、

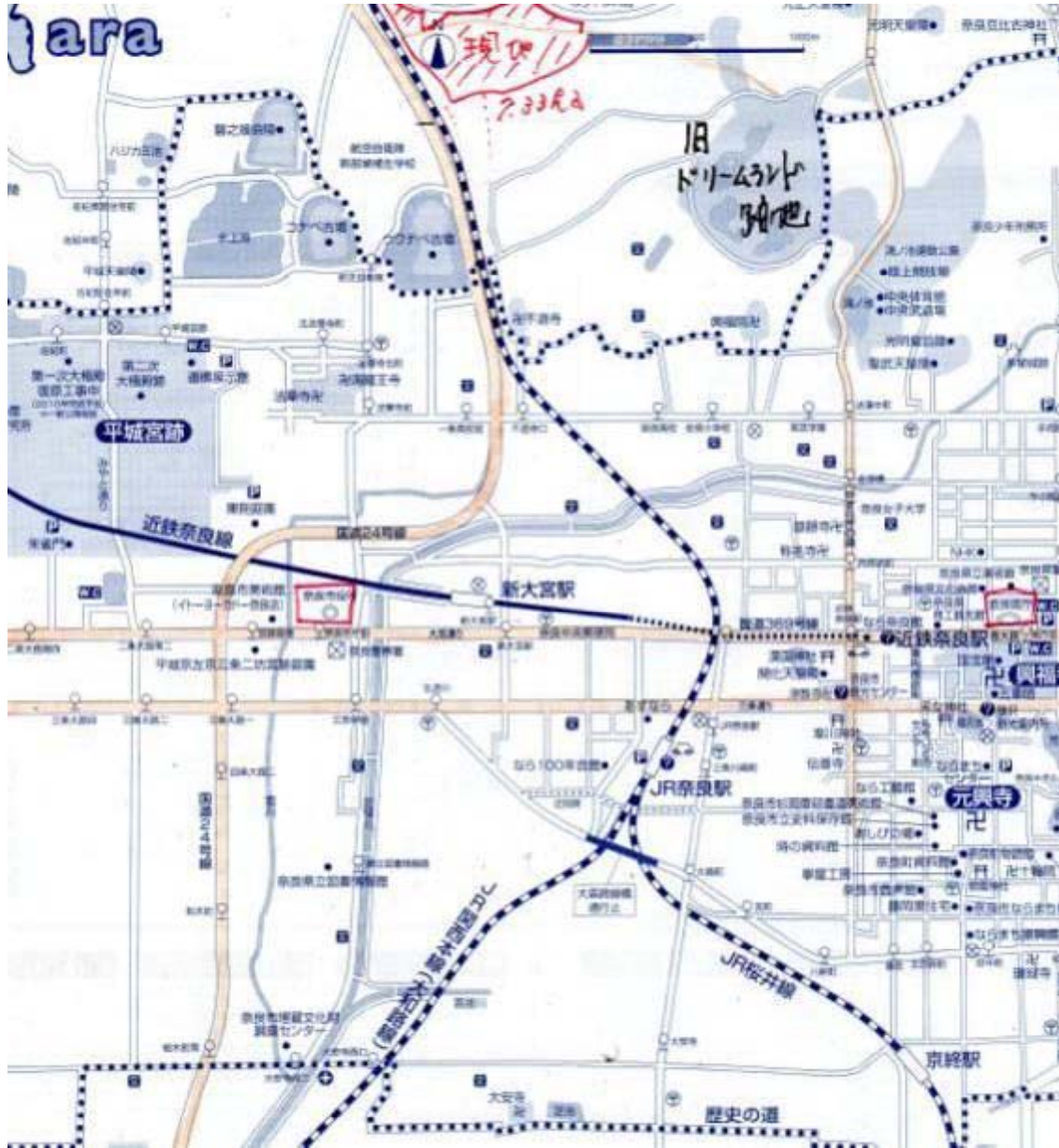
自転車道の維持 ゴミの撤去など

平城宮跡歷史的文化的風土特別保存地区



平城宮跡

- ・ 歴史的風土特別保全地区
- ・ 奈良県第1種風致保全地区



ならやま里山林整備事業
全体図 (7.3Hr)

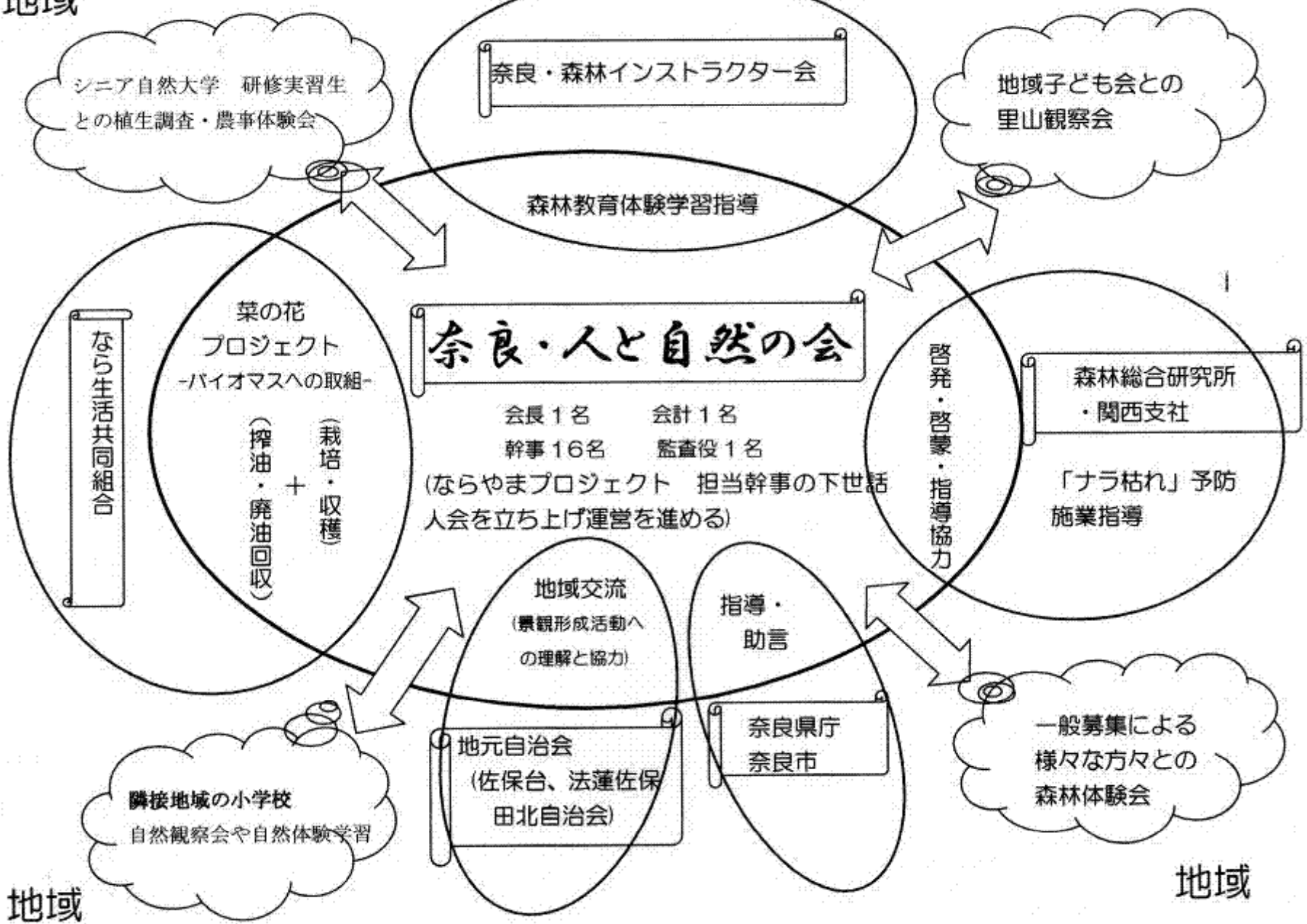
21年1月



ならやま整備事業区域
観察路ルート

地域

地域



地域

地域





1年目 畑の復活 隣のササはまだ



初年度 自転車道路 に沿ってコスモス 貧弱であった



田んぼの跡地



B地区 笹を刈り進む

三井物産環境基金の助成が決定



3～4mのササを刈り進む と







捨てられていたゴミの山



笹を粉碎牛糞と混ぜ堆肥化を図る

平成21年5月





20年度あと少し の笹群落



20年度笹群落終了



水田用地の手前菜の花が満開





里山林に観察路を付けよう！



至る所松枯れ 故死 マツの伐採



A地区5253m²毎木調査風景





A地区 侵入タケの皆伐整備 後



水田の復活に取り掛かる 09・2



田植えを待つ水田





ベースキャンプ秋の風情



椎茸作り



順調・ならやまプロジェクトの進捗

参加人数の年々の増加

初年度460人→2200人今年度予想 延べ参加人数

地域のみなさんの自主的な参加・加入

三井物産環境基金 他の事業助成

平成20年～22年 3ヶ年間

報・連・相 行政とのスムーズな意思の疎通

「会」に人的資源の充実とこれまでの蓄積

観察会、国有林整備、体験学習会等の実施

第1期ビオトープ完成 奥は湿地



ビオトープ北側の湿地観察路



水生生物定期調査を開始



6月18日確認された水棲動物・昆虫

- カワニナ、サカマキガイ？ ドジョウ、ニホンアマガエル？ のオタマジャクシ
- アオイトトンボとシオカラトンボ類の幼虫
- マツモムシ、オオミズムシ、コミズムシ、チビミズムシ
- アメンボ、カタビロアメンボ、イトアメンボ
- ガムシの幼虫、オオミズスマシ、フタバカゲロウの幼虫

アキアカネ(幼虫→成虫)、ヒメアメンボ、オオミズムシ





腐生植物 タシロラン



ミズオオバコ(奈良県希少種)



景観整備後の活用

- 1、歴史的文化的風土特別保存地区 をふまえた上で
地域の人にも歓迎される一帯とする。
2. 森林環境教育・体験学習 の場所
としての利活用。
3. 豊かな生態系を持つ
「市街地の里山」の特徴を生かし
市民、県民への環境メッセージ、啓蒙の
有力な発信の場所
- 4、健康な シルバー人材の 社会貢献の地域

—奈良・人と自然の会—

22・11・11の風景



◇自然景観が美しいと感じられる一帯は

その場所の環境が守られている証左です！

明るく！元気に！楽しく！そして無理せず
これからも続けることでしょう。

—奈良、人と自然の会—